

# 分大附特スタイル授業研究会 事後研究会編



## 司会者

## 授業者

## 参加者

### \*1 授業研究会の基本ルール

(1) 児童生徒が活動に意欲的に取り組む姿を実現することを目的とする会である

(2) 参加者全員が学びあう

(3) 授業記録に基づいた意見、感想を言う

(4) 授業者の意図・考えを尊重する

(5) 批判をしない

### 【\*2 本校のめあての記述の仕方】

○「教材+思考すること+到達像」の形で記述する  
 ・「教材」は、個々の児童生徒の活動場面を表す（授業中のどのような場面で）  
 ・「思考すること」は、「知ること」「目を向けること」「わかること」「気付くこと」などを記述する  
 ・「到達像」は、児童生徒がどのような活動ができればよいかを具体的に記述する  
 例：買い物ゲームで▲■円の表示金額を見てちよどの金額をそろえるとき、十円硬貨5枚と五十円硬貨1枚が同じであることがわかり、五十円硬貨と十円硬貨を使って代金をそろえる

### 【\*3 協議の内容】

後半グループ→参観者の立場で本時の子どものめあての評価について  
 ・授業全体にかかわる疑問点、質問、意見について  
 前半グループ→授業全体にかかわる疑問点、質問、意見について  
 \*おおよそ授業の後半に学習の評価場面があるので、この協議内容の振り分けとした

### 【\*4 評価の視点】

「場面」「教師の支援」「児童生徒の姿」の視点で、「評価の基準」に従って、「○△×」で評価し、その理由を述べる

### 【\*5 協議の柱について】

・課題解決に向かうには、参加者自身が課題を認識する必要があると考えられる。そのため、参加者自身の疑問をうまく協議の柱に持って行くようにするとよい。司会者の技量によることも大きい。それが司会者の役割である  
 ・協議の柱とはならなかったが、改善案があるとよい内容については、指導・助言の際に話してもらうようにする  
 ・事前に4~5名のグループを構成しておき、各グループに協議の柱を割り振る。協議の柱の数によっては、複数のグループが同じ柱について協議することもある

### 【\*6グループ協議の流れ】

①グループ内で司会者、記録・発表者を決める  
 →事前に研究部（司会者）が決めて置き、授業場所で配布  
 ②「場面設定」「教具」「働きかけ」「その他」の視点から改善案を付箋に記入する（個人）（5分程度）  
 ③改善案をグループ内で発表し、改善案マトリクスシートに分類して貼る（個人→全員）（15分程度）  
 ④改善案を授業のどの場面に取り入れられるかを考え、学習活動マトリクスシートにまとめる（全員）（15分程度）

付箋の色

黄…場面設定 赤…教具  
 青…働きかけ 緑…その他

ペンの色

原因（解釈）…赤 改善案（考察）…黒

※学部主事、研究主任等はオブザーバーとして机間巡視し、協議中に質問を受けたり、アドバイスをしたりする

### 1. 授業研究会の基本ルールの確認（1分）

### 2. 授業についての共通理解（20分）

授業についての授業についての疑問点等を出し合い、共通理解した上で、協議に臨めるようにする

### 3. 協議の柱の設定（3分）

### 4. グループ協議（35分）

協議の柱に沿って、授業事実をもとに解釈・考察し、改善案を考えまとめる

### 5. グループ発表（10分程度 各グループ3分程度）

### 6. グループ発表を受けて授業者から（1分）

### 7. 指導・助言（10分）

### 8. アンケート記入（10分）

授業研究会の基本ルール(\*1)を読み上げる

- ①授業者に学習指導案の修正箇所があれば伝えるよう指示する（1分）
- ②授業者にめあてを伝えるよう指示する（1分）
- ③参加者にめあてにかかわる事柄の質疑を受け付ける（4分）
- ④参加者に前半、後半グループに分かれて協議するよう指示する(\*3)（5分）
- ⑤授業者にめあての評価を述べるよう指示する（1分）
- ⑥参加者（後半）にめあての評価を述べるよう指示する（4分）
- ⑦授業全体にかかわる事柄の質疑を受け付ける（4分）

授業研究会前に、授業者、司会者、学部主事であらかじめ仮の協議の柱を設定しておくが、参加者の疑問点等から協議の柱を設定する(\*5)

各グループの協議の柱と時間設定を伝え、グループ協議(\*6)を行うように指示する

グループごとに、学習活動マトリクスシートを使って発表するように指示する

授業者に、実施できそうな改善案を述べるように指示する

◇該当学部主事1名 研究部アドバイザー、研究主任、管理職等から1名 の計2名程度

◇成果と課題をあげてもらい、分大附特スタイル授業事後研究会のブラッシュアップや今後の取組の改善を図る

授業研究会の基本ルールを全員で確認する

①めあての修正があれば伝える

②本校のめあての記述の仕方(\*2)に沿ってめあてを口頭で伝える

③質疑に答える

⑤めあての評価の視点(\*4)に沿って評価を述べる

⑦質疑に答える

授業者は、グループを回って質問を聞くなどしてよい

グループ発表で上がった改善案を受け、今後の授業にどのように生かすのか述べる

③めあてについて質疑し、思考と到達像を共通理解する

④前半、後半グループに分かれて協議(\*3)

⑥後半グループはめあてのめあての評価の視点(\*4)に沿って評価を述べる

⑦全体に関わる質疑をする

グループ協議で協議の柱について、授業事実をもとに原因の解釈・考察を協議し、改善案を学習活動マトリクスシートにまとめる

学習活動マトリクスシートで、ポイントをまとめて発表する